

| | | | |
|-------|----------|------|--------------|
| 3類型 | 鉦工業品 | 通巻番号 | 2 - 20 - 011 |
| 地域資源名 | 絹・化合繊維織物 | 認定日 | 平成20年7月4日 |
| 地域 | 福島県川俣町 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名:特殊複合糸と先染絹織物によるブライダル絹布地の商品開発と国内外における販路開拓

会社名:齋栄織物株式会社

所在地:福島県伊達郡川俣町鶴沢
字馬場6-1

連絡先:TEL:024-565-2331

H P :<http://saiei-orimono.com/index.html>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社が長年培ってきた先染織物の技術と極細絹糸を用いた薄地織物の技術を組み合わせた独自技術により世界一薄い先染絹織物に挑戦する。
- ・この技術により、光沢と偏向をもつシャンプレー(玉虫)やグラデーションなどエレガントな生地を開発、ブランド化を行い、ブライダル業界を主なターゲットとする。



【極細絹糸(三眠蚕)】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・世界一薄い織物による段階的な濃淡を持つグラデーション調の生地が製品化され他に真似のできない技術であることから高い競争力をもつ。
- ・また、この極細絹糸の原料調達、撚糸加工については、地元企業の連携により可能であり、他社との優位性は明らかである。

市場性

- ・本物志向の高まりから、上質感や、ソフト感、保湿性などの面からシルク繊維市場そのものが伸びを示し、体にやさしい繊維として再認識されつつある。
- ・シルクの特性を特に活かせるウェディング分野では、個性化ニーズの拡大により質の高いものへのニーズは高まりつつある。

販路

- ・国内外の展示会に出展し、世界中のバイヤーへ新商品を発信し顧客を開拓する。このため、素材、生地のサンプル台帳を作成し、ウェディングドレスの商品見本を作成する。



【本社工場 製織風景】

地域資源における関係事業者との連携

- ・製品の開発・加工は福島県ハイテクプラザ、産地撚糸工場との連携、産地組合との情報交換により、齋栄ブランドの確立を図る。



【齋栄生地使用
ウェディングドレス】